

グループディスカッション 討論結果まとめ

グループ 番号	5 - 1	テーマ	地域の中高年齢者の介護への就労促進に当たり有効と考えられる 方策
------------	-------	-----	-------------------------------------

事業の効果を高めるためのアイデア

中高年でも資格の有無ですみ分けして取り組みを整理していく。
(再生か啓発 + 新たな働き方か)

新しいアイデアはなかなか出ないので既存の事業を意味付けしながら連携させる。

過疎地域・・・資格講習少ない(会場まで遠い)

県の役割として事業のサテライト代の検討(初任者研修等) 基金で受講料軽減
公民館単位での実施

退職者に対して・・・商工会議所等に働きかけ、シニア向け講座の案内
(労働者側にも、管理者側にも)

「協議の場」の活用方法

協議の場を県域でなく地域ごとに設けることも必要。

事業所側が率先して行う取組みが少ない。(常に県から出てくるのを待っている)

同じメンバーの協議の場が多い まとめる。

教育委員会の参画必要性

メンバーから具体的な協議事項はなかなか出ない 少なくとも方向性の確認は行う

グループディスカッション 討論結果まとめ

グループ 番号	5 - 2	テーマ	地域の中高齢者の介護への就労促進に当たり有効と考えられる 方策
------------	-------	-----	------------------------------------

事業の効果を高めるためのアイデア

PR方法

- ・自衛隊の人材センターと連携（退職年齢が低い、地方本部が地方にも充実）
- ・認知症サポーター養成セミナーなど注目度の高いイベントとセットでPRする。

都道府県において把握しておくべきデータ

- ・事業所側の受入希望の状況（仕事の内容、求める人材の資質）
- ・シルバー人材センターのストック

介護事業者に求めること

- ・業務配分（中高齢者が軽作業を占めてしまうと、新人が高度な業務を担うことになるため、内部研修を充実させる必要がある）

「協議の場」の活用方法

市町村との連携

介護人材確保対策は都道府県と福祉人材センターが実施すべきという認識
すそ野の拡大は市町村が担うべき部分がある

老人クラブとの連携

アクティブシニア層が集まる老人クラブと連携し、すそ野の拡大を図る